

令和2年7月 全国百貨店売上高概況

令和2年8月21日

I. 概況

1. 売上高総額	3,912億円余
2. 前年同月比	-20.3% (店舗数調整後/10か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	73社 203店 (令和2年6月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,156,039㎡ (前年同月比:-4.3%)
5. 総従業員数	61,638人 (前年同月比:-7.0%)
6. 3か月移動平均値	12-2月 -6.3%、1-3月 -16.8%、2-4月 -39.7%、 (店舗数調整後) 3-5月 -56.1%、4-6月 -51.7%、5-7月 -34.1%

[参考] 令和元年7月の売上高増減率は-2.9% (店舗数調整後)

【特徴】

7月の売上高は20.3%減(10か月連続)と、前月(19.1%減)からほぼ横ばいの業績推移となった。新型コロナウイルス感染再拡大による外出自粛、豪雨や長梅雨などの天候不順に加え、各社の集客催事中止や規模縮小の継続も影響した。一方、生活必需品である食料品や衛生用品の他、上質・高付加価値需要も底堅く、ラグジュアリーブランドや時計、宝飾品などの高額品は健闘した。また、中元はECや電話受注が好調で、店頭の減少分をカバーし前年並みに推移した。

地区別では、感染者数が再び急増した大都市(10都市)が23.3%減、地方(10都市以外の地区)が12.7%減と、前月同様、地方に比べ大都市の減少幅が大きかった。

顧客別では、国内市場が16.1%減(10か月連続/シェア99.2%)と前月より1.5ポイント減少した。インバウンドは海外からの渡航者入国制限継続により88.7%減(31.7億円/6か月連続/シェア0.8%)と依然として厳しい状況が続いている。

商品別では、ファッション商材がセールの前倒しや天候与件、コロナ影響による生産量低下・在庫不足などにより苦戦した。テレワークの拡大から外出機会が減少し、スーツ、ジャケット、パンプスなどビジネス関連も不振だった。半面、「新しい生活様式」の中で、精肉などの生鮮食品や和洋酒、包丁や調理家電などのキッチン用品、ホビーなど在宅時間をより楽しむ商材の他、マスク、エコバッグなどの必需品も動いた。また、各店では、デジタルを活用したオンライン接客や動画の配信サービスなど、新たな取り組みも進められている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇「令和2年7月豪雨」が発生し、降水量は東・西日本でかなり多かった。日照時間は、北日本太平洋側と東・西日本でかなり少なく、気温は、西日本でかなり低く、東日本で低かった。

(2) 営業日数増減 30.8日(前年同月比 -0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(" +1日/祝日1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数113店舗)

①増加した：4店、②変化なし：6店、③減少した：103店

(5) 7月歳時記(クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数83店舗)

①増加した：8店、②変化なし：12店、③減少した：63店

全国百貨店 売上高速報 2020年7月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全国	391,277,189	100.0	-20.3 (-21.3)
10都市	273,171,414	69.8	-23.3 (-23.3)
札幌	9,904,821	2.5	-23.1
仙台	6,021,942	1.5	-13.2
東京	98,257,899	25.1	-27.9 (-28.1)
横浜	25,441,540	6.5	-15.4
名古屋	25,399,487	6.5	-19.0
京都	15,788,157	4.0	-21.1
大阪	57,442,832	14.7	-24.8
神戸	10,679,071	2.7	-7.4 (-11.3)
広島	9,393,831	2.4	-15.4
福岡	14,841,834	3.8	-21.0
10都市以外の地区	118,105,775	30.2	-12.7 (-16.2)
北海道	894,607	0.2	-12.7
東北	5,408,425	1.4	-4.0 (-16.9)
関東	49,069,060	12.5	-13.6 (-20.0)
中部	9,427,247	2.4	-11.5 (-17.1)
近畿	17,766,629	4.5	-9.7 (-7.9)
中国	8,929,418	2.3	-12.8
四国	7,607,807	1.9	-6.4
九州	19,002,582	4.9	-17.5

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	391,277,189	100.0	-20.3 (-21.3)
紳士服・洋品	20,237,996	5.2	-26.1 (-27.2)
婦人服・洋品	62,799,919	16.0	-26.6 (-27.9)
子供服・洋品	6,495,606	1.7	-25.5 (-27.1)
その他衣料品	7,227,627	1.8	-28.7 (-30.9)
衣 料 品	96,761,148	24.7	-26.6 (-27.9)
身のまわり品	51,943,279	13.3	-19.3 (-20.8)
化粧品	28,345,612	7.2	-35.8 (-36.1)
美術・宝飾・貴金属	27,751,779	7.1	-15.9 (-16.9)
その他雑貨	12,893,820	3.3	-17.3 (-20.8)
雑 貨	68,991,211	17.6	-25.6 (-26.6)
家具	4,309,918	1.1	-21.9 (-23.5)
家電	1,108,355	0.3	-5.1 (-5.2)
その他家庭用品	10,966,597	2.8	-15.0 (-16.8)
家 庭 用 品	16,384,870	4.2	-16.3 (-18.0)
生鮮食品	26,842,720	6.9	-5.9 (-7.4)
菓子	33,442,652	8.5	-16.9 (-17.4)
惣菜	26,209,416	6.7	-13.6 (-14.1)
その他食料品	49,450,303	12.6	-9.4 (-10.6)
食 料 品	135,945,091	34.7	-11.5 (-12.5)
食堂 喫茶	7,240,003	1.9	-43.6 (-45.3)
サービス	3,371,901	0.9	-27.2 (-28.3)
その他	10,639,686	2.7	-5.4 (5.8)
商 品 券	13,838,679	3.5	-18.2 (-18.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|--------|---------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -23.3% | (店舗数調整後/10か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -12.7% | (店舗数調整後/10か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-23.3	-16.9	10か月連続マイナス
札幌	-23.1	-0.6	6か月連続マイナス
仙台	-13.2	-0.2	5か月連続マイナス
東京	-27.9	-7.8	10か月連続マイナス
横浜	-15.4	-1.0	10か月連続マイナス
名古屋	-19.0	-1.2	10か月連続マイナス
京都	-21.1	-0.9	10か月連続マイナス
大阪	-24.8	-3.9	10か月連続マイナス
神戸	-7.4	-0.1	10か月連続マイナス
広島	-15.4	-0.4	6か月連続マイナス
福岡	-21.0	-0.8	10か月連続マイナス
10都市以外の地区	-12.7	-3.5	10か月連続マイナス
北海道	-12.7	-0.0	6か月連続マイナス*
東北	-4.0	-0.0	6か月連続マイナス*
関東	-13.6	-1.6	10か月連続マイナス
中部	-11.5	-0.3	10か月連続マイナス
近畿	-9.7	-0.4	10か月連続マイナス
中国	-12.8	-0.3	10か月連続マイナス*
四国	-6.4	-0.1	10か月連続マイナス
九州	-17.5	-0.8	10か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、10か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も6か月連続で全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-20.3	—	10か月連続マイナス
紳士服・洋品	-26.1	-1.5	10か月連続マイナス
婦人服・洋品	-26.6	-4.7	10か月連続マイナス
子供服・洋品	-25.5	-0.5	10か月連続マイナス
その他衣料品	-28.7	-0.6	10か月連続マイナス
衣料品	-26.6	-7.2	10か月連続マイナス
身のまわり品	-19.3	-2.6	10か月連続マイナス
化粧品	-35.8	-3.2	6か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-15.9	-1.1	6か月連続マイナス*
その他雑貨	-17.3	-0.6	10か月連続マイナス*
雑貨	-25.6	-4.8	10か月連続マイナス
家具	-21.9	-0.2	10か月連続マイナス
家電	-5.1	-0.0	6か月連続マイナス
その他家庭用品	-15.0	-0.4	10か月連続マイナス
家庭用品	-16.3	-0.7	10か月連続マイナス
生鮮食品	-5.9	-0.3	21か月連続マイナス*
菓子	-16.9	-1.4	6か月連続マイナス*
惣菜	-13.6	-0.8	10か月連続マイナス*
その他食料品	-9.4	-1.1	10か月連続マイナス*
食料品	-11.5	-3.6	10か月連続マイナス
食堂喫茶	-43.6	-1.1	10か月連続マイナス
サービス	-27.2	-0.3	5か月連続マイナス
その他	-5.4	-0.1	5か月連続マイナス
商品券	-18.2	-0.6	113か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>